

札幌地域における野菜の入荷量及び卸売価格の見通し

平成 23 年 1 月 31 日
農林水産省生産局農産部園芸作物課
電話 03-3502-8111 (内線 4822)

対象年月：平成 24 年 2 月
対象市場：札幌市中央卸売市場

【1月の経過（実績見込み）】

① 入荷の動向

1月の野菜は、北海道ものを中心に、関東平坦地、東海、四国及び九州もの等が出回った。主要野菜の入荷量は、総じて前年を上回る入荷となった。

「前年を大幅に上回った」のは、ねぎの1品目である。

「前年をかなり上回った」のは、たまねぎの1品目である。

「前年を上回った」のは、だいこん、にんじん、はくさい、キャベツ、ほうれんそう、レタス、ばれいしょ、さといもの8品目である。

「前年をやや上回った」のは、きゅうりの1品目である。

「前年をやや下回った」のは、トマト、ピーマンの2品目である。

「前年を下回った」のは、なすの1品目である。

② 価格の動向

このような入荷状況のもとで、1月の野菜価格は、総じて前月平均を上回る価格となった。

「前月平均を大幅に上回った」のは、ほうれんそうの1品目である。

「前月平均をかなり上回った」のは、キャベツ、レタスの2品目である。

「前月平均を上回った」のは、だいこん、にんじん、はくさい、ねぎ、ばれいしょの5品目である。

「前月平均並み」は、なす、ピーマン、たまねぎの3品目である。

「前月平均を下回った」のは、きゅうり、トマト、さといもの3品目である。

【2月の見通し】

① 入荷量の見通し

2月の野菜は、北海道ものを中心に、関東平坦地、東海、四国及び九州もの等が出回る。野菜の入荷量は、総じて前年をやや上回る入荷が見込まれる。

「前年を上回る」のは、北海道、千葉及び神奈川主体のだいこん、茨城、埼玉、千葉及び愛知主体のにんじん、埼玉及び宮崎主体のさといも、北海道主体のたまねぎの4品目である。

「前年をやや上回る」のは、北海道、群馬及び埼玉主体のねぎの1品目である。

「前年並み」は、茨城主体のはくさい、北海道及び愛知主体のキャベツ、茨城、静岡及び香川主体のレタス、宮崎主体のきゅうり、高知主体のなす、熊本及び宮崎主体のトマト、宮崎主体のピーマン、北海道主体のばれいしょの8品目である。

「前年を下回る」のは、栃木、群馬及び埼玉主体のほうれんそうの1品目である。

② 価格の見通し

このような入荷状況のもとで、2月の野菜価格は、総じて前月平均並みの価格が見込まれる。

「前月平均をかなり上回る」のは、ねぎの1品目である。

「前月平均を上回る」のは、はくさい、さといもの2品目である。

「前月平均をやや上回る」のは、ピーマンの1品目である。

「前月平均並み」は、キャベツ、ばれいしょ、たまねぎの3品目である。

「前月平均をやや下回る」のは、にんじんの1品目である。

「前月平均を下回る」のは、だいこん、ほうれんそう、レタス、きゅうり、なす、トマトの6品目である。

※ この資料の内容は、1月31日（火）現在で見込んだものであり、気象条件等により変動があり得る。

(参考) 入荷量と卸売価格の見込み

	2月の入荷量			2月の価格			2月の主産県
	前月比較	前年比較	5カ年	前月比較	前年比較	5カ年	
だいこん	○	○	○	△	△	△	神奈川(40.8%)、北海道(23.6%)、千葉(21.3%)
にんじん	○	○	=	△	△	△	千葉(33.2%)、茨城(29.1%)、埼玉(15.5%)、愛知(1.2%)
はくさい	△	=	=	○	△	○	茨城(88.0%)
キャベツ	△	=	△	=	△	○	愛知(51.4%)、北海道(43.1%)
ほうれんそう	△	△	△	△	○	○	群馬(45.4%)、埼玉(24.2%)、栃木(5.4%)
ねぎ	△	○	=	○	=	○	埼玉(48.5%)、北海道(21.4%)、群馬(10.1%)
レタス	△	=	△	△	=	○	香川(38.3%)、茨城(25.2%)、静岡(22.7%)
きゅうり	=	=	=	△	=	△	宮崎(75.7%)
なす	○	=	=	△	=	=	高知(76.5%)
トマト	○	=	=	△	○	=	熊本(85.2%)、宮崎(7.7%)
ピーマン	△	=	○	○	△	△	宮崎(79.1%)
ばれいしょ	△	=	=	=	△	○	北海道(99.4%)
さといも	○	○	=	○	△	=	宮崎(31.0%)、埼玉(4.5%)
たまねぎ	=	○	○	=	△	△	北海道(94.9%)

入荷量と卸売価格の符号

符号	入荷量	卸売価格
○	多い	高い
=	同じ	横ばい
△	少ない	安い